

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 3月15日

事業所名 あかいわ児童発達支援センター(放課後等デイサービス) 家庭数 45 回収数 40 割合 88.9%

内容		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34 85.0%	5 12.5%	0 0.0%	1 2.5%	・大丈夫です ・室内は狭く感じる ・少し狭いような気がします。	・面積基準は満たしておりますが、室内環境を見直し、一人ひとりにあったスペースが確保できるようにします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	31 77.5%	6 15.0%	0 0.0%	3 7.5%	・日中の様子を見ていないのでわかりません。 ・人数が少なく感じる ・スタッフが少なくバタバタしている印象です。	・職員も落ち着いて対応できるよう、努力します。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	36 90.0%	3 7.5%	0 0.0%	1 2.5%	・車椅子が通れるようにコンクリートの道があればいいと思います。	・所庭は土部分がほとんどなので、地面の荒れや石など、日頃から整備をします。
適切な 支援の 提供	4 こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が作成されているか	39 97.5%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%		
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	32 80.0%	5 12.5%	0 0.0%	3 7.5%	・季節感のある活動になっていると思います。 ・季節毎に活動内容が変わるのでこどもも楽しめている。 ・年齢と適性に合った活動が増えると良いと思います。一時的な実習とか。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのないこどもと活動する機会があるか	14 35.0%	11 27.5%	3 7.5%	12 30.0%	・コロナの影響で難しい状況かと思えます。 ・今のところ交流の機会は聞いてないです。	・感染症予防の点からなかなか実施できていませんでしたが、今後は積極的に、また計画的に交流活動に取り組みます。
保護者 への 説明等	7 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38 95.0%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%		
	8 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	31 93.9%	2 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	・様子を詳しく教えて下さり安心して預けることができます。	
	9 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	37 92.5%	3 7.5%	0 0.0%	0 0.0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	38 95.0%	2 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	・コロナの状況を見ながら出来る範囲で活動されていると思います。 ・開催されているのは参加出来てない ・今、コロナ禍だからやってません。 ・開催されても仕事で参加は難しいからなくても構わないです	・感染症の流行状況等を見ながら、保護者カフェを実施しました。今後は、より多くの方々が参加できる機会を、定期的に設けます。また、父母の会も再開したいと考えています。
	11 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21 52.5%	10 25.0%	0 0.0%	9 22.5%	・小さな困り事にもきちんと相談にのってくださいます。	

	12	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	35	3	0	2		
			87.5%	7.5%	0.0%	5.0%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか	37	1	1	1	・月1のお便りはもみじの方向けな感じがします。こぶしだけの開所当時の頃よりここ数年は行事予定だけしかあまり見てないです。毎年いただく法人の冊子もうちがいただいているのが申し訳なく思っています。	・施設だよりについては、内容や発行の仕方を見直す予定です。
92.5%			2.5%	2.5%	2.5%			
	14	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	38	0	0	2		
			95.0%	0.0%	0.0%	5.0%		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。(また、発生を想定した訓練が実施されているか。)	32	1	0	7	・マニュアルの策定や説明があったかは覚えていません。	・各種マニュアルについて、より保護者の方々にも周知できるよう、見えやすい場所に設置します。
			80.0%	2.5%	0.0%	17.5%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	34	1	0	5	・避難訓練を実施して下さっています。	
			85.0%	2.5%	0.0%	12.5%		
満足度	17	こどもは通所を楽しみにしているか	28	9	0	3	・楽しんでいます ・行きたくないと言う時があります。 ・楽しみがある反面、苦手な事も気にするので難しい時があります。先生方には楽しく登所出来る雰囲気作りを送迎の時からしていただいているので、何とか頑張って行けています。 ・家の方が我儘が出来て良い様です。 ・学校で頑張りこぶしで頑張り疲れきってます ・最近では休みたいと言う事が時々あります。 ・かりんの家よりはこぶしの家の方がいいと言ったり、その逆があったり。利用日に何かしら思う事があったりするのかなあ～と思います。	・こどもたちの気持ちの変化に寄り添いながら、こどもたちにとって居心地のいい場所であり続けられるよう、職員と保護者の皆さんと一緒に作り上げていきたいです。
			70.0%	22.5%	0.0%	7.5%		
	18	事業所の支援に満足しているか	37	1	1	1	・送迎時や相談支援等で、色々こちらの話を聞いてもらえたり、様子を教えていただいたりして、とても助かっています。ありがとうございます！ ・本当に感謝しています！ ・一生行かせたいくらい安心出来る施設です。預かっていただきいつも感謝しております。作業所も作って下さい、宜しくお願い致します。 ・祝日、日曜日の利用ができるようになればいいと思います。 ・いつも助かっています。ありがとうございます。	・いつも事業所の運営にご理解、ご協力ありがとうございます。今後もこどもたちを真ん中に、保護者の皆様と一緒にこどもたちの育ちを支えていきたいです。これからも、ご意見やアドバイスをいただけたらと思います。
			92.5%	2.5%	2.5%	2.5%		

「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月15日

事業所名 あかいわ児童発達支援センター(放課後等デイサービス)

項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		各コーナーごとに発達や興味にあった遊びを用意して落ち着いて過ごせるようにしている。	
	2	○		曜日によっては厳しい日もある。	人員基準は満たしているが、引き続き職員体制の調整を行う。
	3	○		バリアフリーを意識して設計されている。	
業務改善	4		○	足りないところがあると感じる。	時間設定や会議の方法を見直し、全職員が参画できるようにする。
	5	○		アンケートを活かすようにしている。	
	6	○		保護者に対しては結果表を配布している。ホームページにも掲載している。	
	7		○	外部評価は実施していない。	今後、第三者評価等の導入を検討する。
	8	○		オンライン研修や、施設外研修の機会を設けている。	
適切な支援の提供	9	○		より具体化して、達成しやすい目標設定を行う。	
	10	○		標準化し、使用している。	
	11	○		担当だけでなくみんなで話をして立案、実施をしている。活動のねらいやこどもの姿を予想して対応を考えている。	立案には、必ず複数職員の意見を取り入れ、より内容が深まるよう工夫している。
	12	○		曜日によって、決まった活動を年間通して行っている。個別活動は計画に応じて個々に実施している。	
	13		○	きめ細やかさに欠けてしまうこともある。	全体活動ばかりでなく、個別の時間や環境を細やかに設定する。
適切な支援の提供	14	○		個々のスキルや目標に応じて、個別活動と集団活動を組み込んで作成している。	
	15	○		担当間では必ず行っている。	
	16	○		全職員が集まる事ができないが、メモなど文章でも確認している。	
	17		○	担当や利用者の実態により、ばらつきがある。	記録を取るだけにとどまらず、記録内容の見直し、支援の検証・改善を行う。
	18	○		半年に一度は必ず行い、その他でも適宜見直しを行っている。	
19	○		組み合わせている。		
	20	○		児発管や担当職員が参加できている。担当職員が参加できない場合も、児発管が普段の様子を聞き取った上で参加できている。	より多くの職員が参加し、連携が深まるように今後も調整をする。
	21	○		努めているのではないかと思っている。	

関係機関や保護者との連携	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか→対象児利用なし	-	-		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者を通じてモニタリングの結果を提出してもらい、情報提供している。	保護者に同意を得た上で卒園・所前に、所属施設へ出向き情報共有を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		担当者会議や引継ぎ会議を開催し、保護者の同意を得た上で情報提供を行った。	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		オンラインで、市内の放デイの連絡会を開催した。	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等(放課後児童クラブや児童館)との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	感染症拡大のため交流できていない。	感染症の状況を見ながら、交流する機会を作る。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会の各部会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や連絡帳で日々の様子を伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	困り感や思いを聞くことにとどまり、そこまでは至っていない。	ペアレントプログラムを使い、計画的に保護者支援を行う。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、(支援の内容)利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明している。
31		(定期的、)保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別で対応できない時は、児発管や所長と一緒に対応をしている。	
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者カフェを開催し、少人数だが交流できた。	感染症の状況を見ながら、保護者同士の交流・連携の機会を作る。
33		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		個別懇談や事業所内相談以外にも都度、電話や面談で相談を受けている。	
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に一回施設だよりの発行や、定期的にブログ更新をしている。	
35		個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報は鍵の掛かる場所に保管している。	
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		カードを使ったり、視覚的にしたりと個々にあった分かりやすい工夫をしている。	
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	前年同様近隣の住民や企業に子どもたちが作った、年賀状を配って回った。	今後も感染症の状況を見ながら、地域へ出かけたり招待する機会を作る。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルは誰でも閲覧できる場に置いている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一回様々な場面を想定し、避難訓練を行なっている。	
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギーの診断書の基個別に対応している。	
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		職員会議やミーティングなどで確認している。	作成で満足せず、今後も検証をしっかりと行い事故防止に努める。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部の研修に参加したり、ケース会議を行なったりしている。	
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	これまでにケースがないが身体拘束について振り返る、考える機会は今後継続して持ちたい。	身体拘束規程を作成したので、職員に周知しケース会議等で事前にシミュレーションを行う。